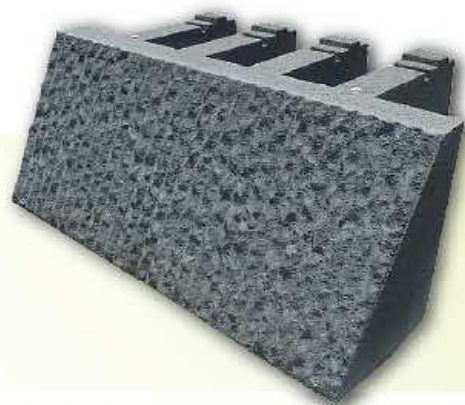


CKフォーム



CKフォームの特長

- 裏込砕石を残存型枠として施工することにより、施工性が向上します。
- 裏込砕石は20～40mmを使用することで、排水機能および胴込コンクリートと金網の一体化が図れます。
- 擁壁の勾配は1:0.3、1:0.4、1:0.5に対応できます。また垂直ブロックを使用することにより、道路幅員を広げることが可能です。
- 擁壁の控幅は大型コンクリートブロックの1m～3.5mと同等の重量となるよう規格化しています。

胴込コンクリートとかご部は一体化 →

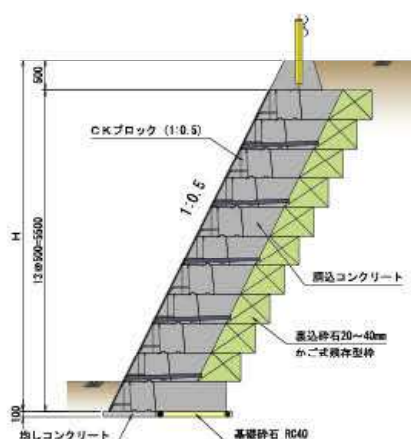


製品明度

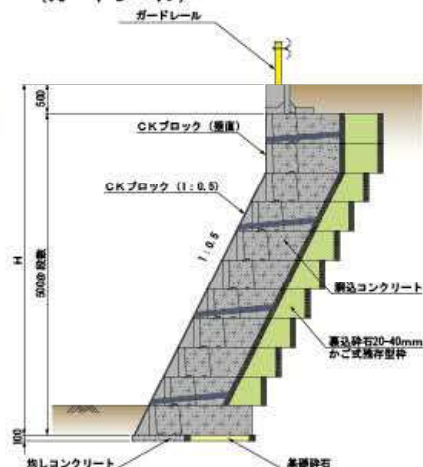
平均明度	5.0
証明書番号	1333号

用途

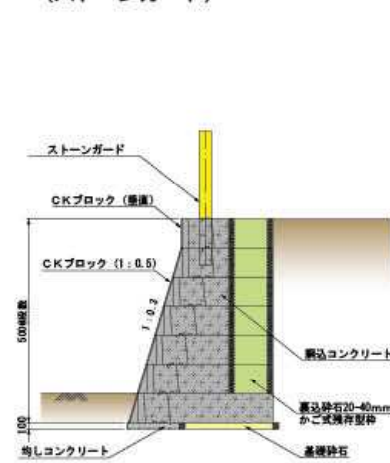
一般道路擁壁



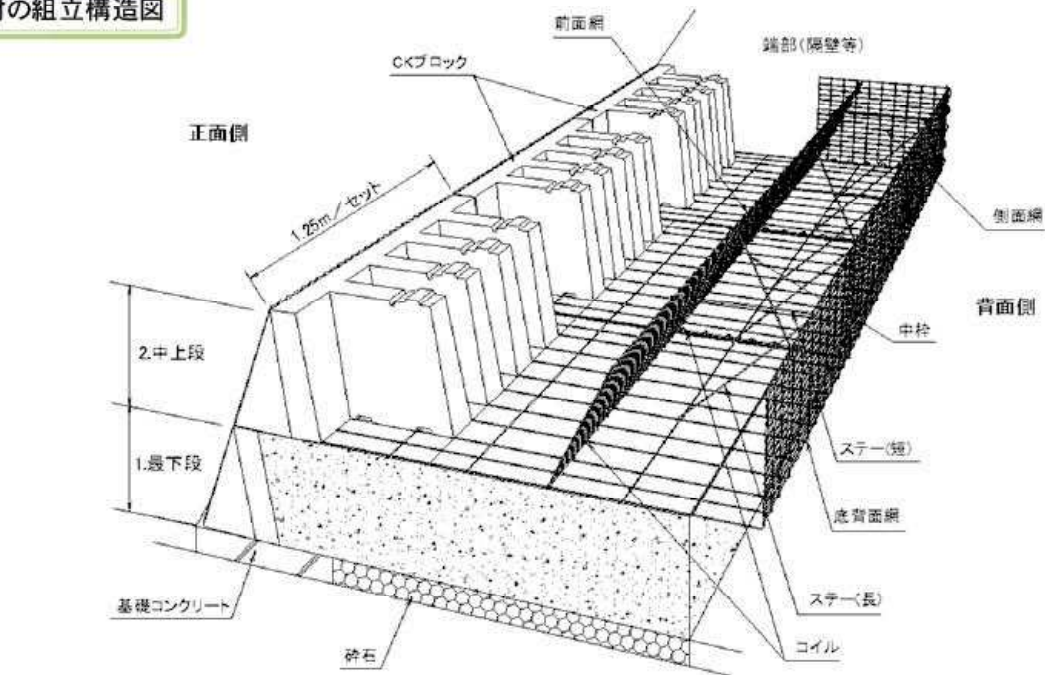
道路拡幅擁壁
(ガードレール)



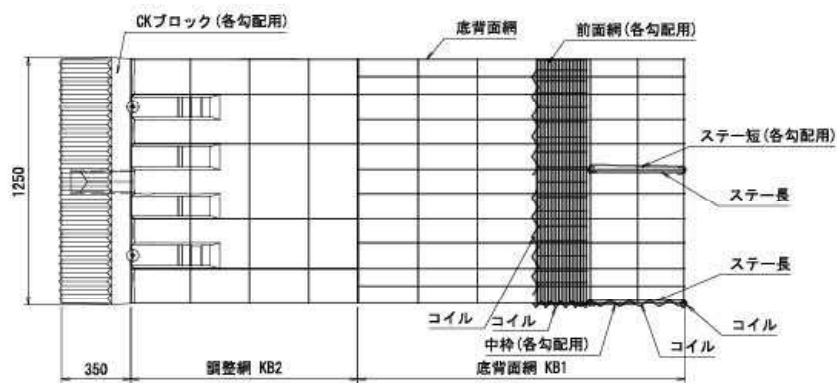
防災落石防止柵基礎擁壁
(ストーンガード)



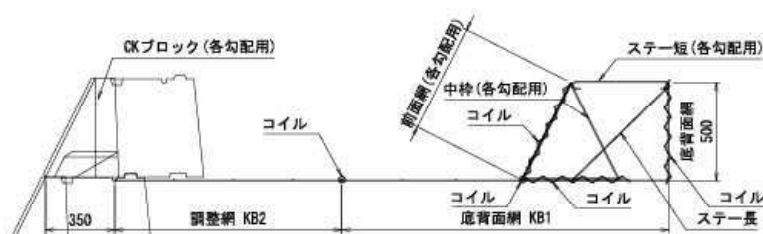
部材の組立構造図



平面図



断面図



金網控え寸法 (mm)

控え呼び名	底背面網	調整網
100 型	KB1	KB2
150 型	1205	-
200 型	1655	550
250 型		1150
300 型		1700
350 型		2250

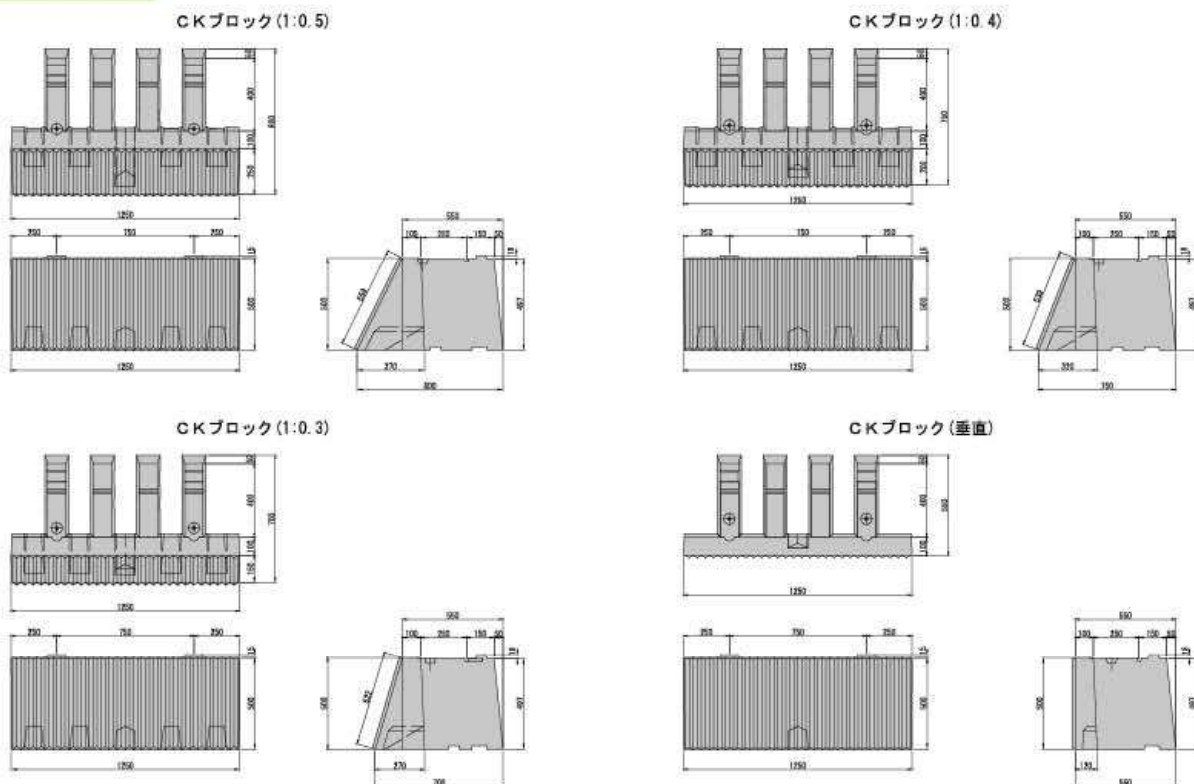
使用部材数量 L1.25m当り

	CKブロック	底背面網	前面網	調整網	中枠	コイル(断面)	コイル(延長)	スチール(長)	スチール(短)
100型	1	1	1	0	1	3	2	2	1
150型	1	1	1	0	1	3	2	2	1
200型	1	1	1	1	1	3	4	2	1
250型	1	1	1	1	1	3	4	2	1
300型	1	1	1	1	1	3	4	2	1
350型	1	1	1	1	1	3	4	2	1

CKフォーム

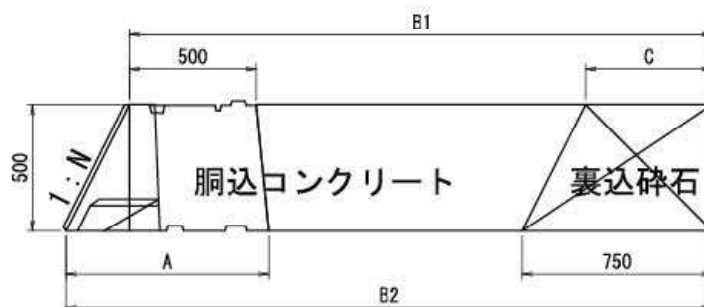
使用部材数量 L1.25m当り

ブロック単体図



呼び名	ブロック			㎡使用個数	本体部金網価格 (円/セット)					
	参考質量(kg)	寸法(mm)	価格(円)		100型	150型	200型	250型	300型	350型
CKフォーム 1:0.5	524	H500×L1250×B500/800		1.43個/㎡						
CKフォーム 1:0.4	488	H500×L1250×B500/750		1.49個/㎡						
CKフォーム 1:0.3	455	H500×L1250×B500/700		1.53個/㎡						
CKフォーム 1:0.0	370	H500×L1250×B500/550		1.60個/㎡						
CKフォーム 側面網		-		0.375個/㎡						

組立控え長さ



CKフォーム組立控え長さ (水平)

(mm)

壁体勾配	A	C	控え長さ	控え呼び名					
				100型	150型	200型	250型	300型	350型
1:0.5	800	500	B1	1300	1750	2300	2900	3450	4000
			B2	1550	2000	2550	3150	3700	4250
1:0.4	750	550	B1	1350	1800	2350	2950	3500	4050
			B2	1550	2000	2550	3150	3700	4250
1:0.3	700	600	B1	1400	1850	2400	3000	3550	4100
			B2	1550	2000	2550	3150	3700	4250
垂直	550	750	B1	1550	2000	2550	3150	3700	4250
			B2	1550	2000	2550	3150	3700	4250

CKフォーム

技術紹介

擁壁

港
湾

河川
張工

河川
積工

基
礎

根固・護床

その他

施工手順

①所定の基礎と根石（コンクリートのみ）を施工し、
根石のブロック上に底背面網または調整網を設置する



③かご部組み立て



⑤かご部碎石投入



⑦胴込コンクリート打設



②ブロック敷設



④組立完了、水抜きパイプ設置



⑥碎石投入完了



⑧以降繰り返し段積み、天端工施工



施工例

